



平成30年 4月 9日

報道関係者各位

国立大学法人帯広畜産大学

産業動物総合画像診断システム導入の取材依頼について

平成30年4月17日(火) 13時30分から、下記のとおり産業動物臨床棟F産業動物飼育棟前において、「産業動物総合画像診断システム」の公開見学会を開催致します。

産業動物総合画像診断システムでは、画像診断と特殊診断の機能を搭載する2種類の診断車を駆使して、産業動物に対して総合的な獣医療の提供を目指します。グリーンの外装の診断車(ショートボディ)は、X線透視検査、X線撮影検査、超音波検査、内視鏡検査等を搭載し、現地での高度な画像診断を可能にします。ブルーの外装の診断車(ロングボディ)は、マルチモードプレートリーダー、LAMP装置といった最先端検査診断装置とともに、繁殖・生殖医療のための受精卵の回収や凍結保存関連装置や経腔採卵による体外受精卵作出(OPU-IVF)のための特殊機器も備える“移動型ラボラトリー(検査室)”です。これらの診断車の導入は、現地で迅速に高度な獣医療の提供を可能にするものであり、国際認証取得と欧米に比肩した獣医学教育への到達を目指す本学にとって、非常に重要な取り組みになります。

このような移動型の特殊な診断車による産業動物獣医療の提供は、国内外の獣医学大学においても極めて稀な取り組みとなりますので、ぜひ取材下さるようお願いいたします。



ショートボディ診断車



ロングボディ診断車

記

日時：平成30年4月17日(火) 13:30

場所：産業動物臨床棟 飼育棟前

道順：玄関から入って左折、自習ホールを通り、トイレの前を右折、履き替え室にて白長靴に履き替えて、飼育棟前へ。

※添付の図面をご覧ください

【問い合わせ先】

国立大学法人帯広畜産大学

グローバルアグロメディシン研究センター

(兼) 臨床獣医学研究部門 南保泰雄

電話 0155-49-5394

メール ynambo@obihiro.ac.jp

